

令和3年度「一般入学者選抜」
学力検査 理科 出題方針

- 1 学習指導要領に基づき，第1分野，第2分野からバランスよく出題し，学習の成果を総合的にみることができるようにする。
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能並びに科学的な見方や考え方を身に付けているかを見ることができるようにする。
- 3 図や表を基に，科学的に判断する力や結果などを表現する力をみることができるようにする。
- 4 課題を多面的，総合的にとらえ，科学的に思考し，解決する力をみることができるようにする。

令和3年度本検査「理科」学力検査について

1 問題構成

全体の構成については、昨年度の前期選抜と同じである。大問は1から9まであり、それぞれ4～5問ずつで構成している。

大問1	: 小問集合	(12点)
大問2及び6	: 第2分野(地学)	(22点)
大問3及び9	: 第1分野(物理)	(22点)
大問4及び8	: 第2分野(生物)	(22点)
大問5及び7	: 第1分野(化学)	(22点)

2 領域及び分野

大問1は、基礎的・基本的な知識を問う小問集合。残りの大問は、物理的領域、化学的領域、生物的領域、地学的領域からそれぞれ2問ずつ出題した。大問1(4)と大問2・4・5を第1学年、大問1(1)と大問3・6・7を第2学年、大問1(2)・(3)と大問8・9を第3学年で学習した内容にするなど、全学年の学習事項からバランスよく出題した。小問数は37問である。

なお、中学校の臨時休業の実施等を踏まえた配慮により、「科学技術と人間」のうち、「エネルギー資源」、「科学技術の発展」及び「自然環境の保全と科学技術の利用」の単元を、「自然と人間」のうち、「自然環境の調査と環境保全」、「自然の恵みと災害」及び「自然環境の保全と科学技術の利用」の単元を出題範囲から除いた。また、第3学年で扱う実験の操作方法及び観察の手法については、出題しないこととした。

3 出題内容及び予想平均点

学習指導要領に基づいて、基礎的・基本的な知識・技能の習得、科学的なものの見方や思考力・判断力・表現力を身に付けているかをみることができるようにした。今年も例年と同様、「観察・実験を題材とした問題」、「身近な生活に関わりのある問題」を出題した。小問集合以外では、「観察・実験を題材とした問題」は大問2・3・4・5・6・7・8・9、「身近な生活に関わりのある問題」は大問2・6・8である。表現力をみる問題として、理由を自分の言葉で説明する記述式の問題や、作図やグラフの問題を取り入れている。記述式は、昨年度の前期選抜4問に対し、本年度の本検査は3問である。作図やグラフは、昨年度の前期選抜2問に対し、本年度の本検査は3問である。

予想平均点は50点から55点で、昨年度の前期選抜(平均48.8点)をやや上回ると考えている。

(問い合わせ先) 千葉県総合教育センター学力調査部

電話 043-212-7588 / 7599

FAX 043-212-7598